

[453]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 453

<https://doi.org/10.15017/4791808>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 453, pp.1-7, 1991-12-05. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1991. 12. 5

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室

目 次

1. 汎用コンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止について 1
2. 今年度のシステム入替について 2
3. 年末年始のプログラム相談について 3
4. 制限値の変更について 3
5. 有限要素法による構造解析システム「MARC」の運用開始について 4
6. MENTATシステムの公開について 6
7. 「オンライン・データベース利用ガイド(第11版)」の発行について 7

1. 汎用コンピュータの更新に伴う計算サービスの一時停止について

このことについて、汎用コンピュータの更新のために次のとおり計算サービスを一時停止します。

年 月 日	利用 者 サ ー ビ ス	セ ン タ ー 内 作 業
平成3年12月24日(火) 20時まで	平成3年サービス終了	
平成3年12月25日(水) ～ 平成4年 1月 7日(火)	サービス停止	* 出力待ちジョブの強制出力作業 及びシステムバックアップ作業 * 汎用コンピュータの入替作業 * システムの変更作業
平成4年 1月 8日(水) 9時から	平成4年サービス開始	

なお、汎用コンピュータの更新に伴って、センターニュースNo. 441でお知らせしましたように次の機器が撤去されます。

- ・ カード読取装置
- ・ カード穿孔装置
- ・ 800bpi磁気テープ装置
- ・ 8インチフロッピーディスク装置
- ・ APL端末

(システム運用掛 内線2517)

2. 今年度のシステム入替について

汎用コンピュータシステムの入替

九州大学大型計算機センターでは1992年1月8日から、汎用コンピュータシステムを従来のFACOM M780/20システムからFACOM M1800/20システムに置き換えてサービスします。新旧の諸元は以下のとおりです。

	M780/20	M1800/20
主記憶	196 MB	256MB
システム記憶	—	256MB
半導体ディスク	64MB	64MB
DASD	196GB	210GB
OS	MSP-EX, UTS/M	MSP-EX, UXP/M

性能はCPU速度で富士通のデータでは1.2倍以上、その他にもコンパイラの性能アップで若干の性能アップが見込めます。さらに、FDDIに対応するなど若干の機能追加があります。

今回新規に導入することにしたシステム記憶の利用法については本センターで調査検討したのちにセンターニュースなどで広報する予定です。

スーパーコンピュータシステムの入替

1992年3月4日から、スーパーコンピュータシステムを従来のFACOM VP200システムからFACOM VP2600/10システムに置き換えてサービスする予定です。新旧の諸元は以下のとおりです。

	VP200	VP2600/10
主記憶	128 MB	512MB
システム記憶	—	1GB
DASD(専用)	—	30GB
OS	MSP VPCF	MSP-EX VPCF, UXP/M

性能はカタログ性能で0.5GFLOPS(VP200)から5GFLOPS(VP2600/10)へ大幅にアップしています。
また実際でも平均4倍の性能アップが期待されます。

今回新規に導入することにしたシステム記憶、およびUXP/M(UNIX)の利用法については本センターで調査検討したのちにセンターニュースなどで広報する予定です。

(システム運用室)

3. 年末年始のプログラム相談について

下記のとおりプログラム相談を一時停止しますのでお知らせします。

なお、平成4年1月8日(水)から通常どおりプログラム相談を開始します。

記

平成3年12月25日(水)～平成4年1月7日(火)

(共同利用掛 内線2532)

4. 制限値の変更について

1月8日(水)から、M1800/20とVP2000のジョブの制限値を下記のように変更します。

今回は、ファイルアクセス回数の多いジョブやアプリケーション(GAUSSIAN88, MARCなど)が増加してきたことに伴う変更で、ファイルアクセス回数を従来の1万～20万回から2万～50万回に緩和しました。

なお、CPU時間やリージョンサイズ等の制限値については、スーパーコンピュータの入替えに合せて3月以降に行う予定です。

1) M1800/20 ジョブクラスと制限値

*のついてるものが今回変更した制限値です

適用ジョブ			ジョブ クラス	CPU 時間	ファイル アクセス	基 本 リージョン サイズ	拡 張 リージョン サイズ	端 末 接 続	ラインプリンタ		XYプロッタ		図形文字 パターン 数
									出力枚数	出力行数	紙 長	使用時間	
パ ッ チ ジ ョ ブ	標準 ジョブ		A	分 2	回 * 20000	MB	MB	分	枚	行	m	分	パターン
			B	10	* 200000								
			E	60	200000								
	MT ジ ョ ブ	OPEN STATION	N	5	* 200000	5	0	—	600	36000	10	60	100000
		CLOSED STATION	L	5	* 200000								
	GRAPHIC JOB		G	10	* 200000								
	A E ジョブ		F	2	* 500000	5	85	240					
				60									
120													
TSS	NOAE TSS		10	100000	5	0							
	AE TSS		2	100000	5	25							

2) VP200 ジョブクラスと制限値

適用ジョブ	ジョブクラス	CPU時間	ファイルアクセス	基本リージョンサイズ	拡張リージョンサイズ	ラインプリンタ		XYプロット		図形文字パターン数
						出力枚数	出力行数	紙長	使用時間	
バッチジョブ	AE ジョブ	A	分 2	* 20000	MB	枚	行	m	分	パターン
		B	10	* 200000	5					
			2							
		F	60	* 500000	5					
			120		85					
						600	36000	10	60	100000

注) 上記制限を超えるものは要審査ジョブ(ジョブクラス"D")となりますので、受付まで申し出てください。

ジョブクラス"F"のCPU時間の省略値は60分です。ジョブ文のTIMEパラメタでCPU時間2分以下の指定(TIME=2)を行うと、指定しないものより優先的に処理されます。また、120分の場合はTIME=120と指定してください。

//ジョブ名 JOB パスワード, CLASS=F, TIME=2

(システム管理掛 内線2518)

5. 有限要素法による構造解析システム「MARC」の運用開始について

標記システムを12月2日(月)から公開しています。MARCはVPジョブで起動しますので

ジョブクラス別の制限値等はVP使用時の規約に従って下さい。

カタログド・プロシジャの使用方法

MARCプログラムの実行に使用するカタログド・プロシジャの形態は以下のとおりです。

1. MARCシステムのための解析

プロシジャ名	記号パラメタ
MARCGO	[, VREGION='m, n']

記号パラメタの説明

VREGION : VPでの実行時のリージョンサイズを指定する。m, n はそれぞれ基本、拡張リージョンサイズ(単位MB)を示す。省略値は 5, 25 である。基本リージョンサイズの最大値は、8MB であり、各ジョブクラスの制限値を越えるものについては、その制限値内に抑えられる。

使用例

```
//A79999A1 JOB CLASS=A
// EXEC MARCGO, VREGION='8, 22'
//SYSIN DD DSN=A79999A. MARC1. DATA, DISP=SHR ..... 入力データセット
//
```

2. ユーザ・サブ・ルーチンを利用したの解析

プロシジャ名	記 号 パ ラ メ タ
MARCCLG	[, VREGION=' m, n']

記号パラメタの説明

VREGION : VPでの実行時のリージョンサイズを指定する。m, n はそれぞれ基本、拡張リージョンサイズ（単位MB）を示す。省略値は 5, 25 である。基本リージョンサイズの最大値は、8MB であり、各ジョブクラスの制限値を越えるものについては、その制限値内に抑えられる。

使用例

```
//A79999A3 JOB CLASS=F
// EXEC MARCCLG, VREGION=' 8, 82'
//FORT.SYSIN DD DSN=A79999A. MARC. FORT, DISP=SHR ..... ユーザ・サブ・ルーチン
//MARC.SYSIN DD DSN=A79999A. MARC3. DATA, DISP=SHR ..... 入力データセット
//
```

参考文献

- [1] S. S. Rao, The Finite Element Method in Engineering 2nd Edition, Pergamon Press, 1989
- [2] 日本マーク, MARCプログラム ユーザ・マニュアル(日本語), A編-プログラム機能, B編-要素ライブラリ, C編-入力データ, D編-ユーザ・サブ・ルーチン, 1990 (ただし、現時点ではK4バージョンの日本語のマニュアルは未発行)
- [3] 山成 實, 「MARC/MENTAT利用の手引き」
MARC/MENTAT利用講習会資料(平成3年11月29日開催済み)
九州大学大型計算機センター広報, Vol. 25, No. 1, 1992 (平成4年1月25日発行予定)

(ライブラリ室 内線 2508)

6. MENTATシステムの公開について

12月2日(月)から、標記ソフトウェアを公開しています。MENTATシステムはMAR Cプログラム(センターニュース前項を参照)のための会話型プリ・ポストプロセッサであり、グラフィック・ディスプレイによるインタラクティブな入力データの作成・編集および解析結果の表示を行うものです。なお、MENTATシステムはワークステーションqviss上でのみ利用できます。

ワークステーションqvissについて

- ・設置場所

九州大学大型計算機センター2階オープン室。

- ・利用形態

予約端末です。

使用する前に2階受付の予約表に記入してください(1回2時間まで)。

- ・利用時間帯

9:00(月曜日は12:30)からオープン室サービス終了まで。

- ・利用資格

MSP, UTSおよびqvissに登録が必要です。

UTSへの登録方法: MSPのTSSからSINSEIコマンドを入力します。1時間程度でUTSに登録されます。UTSのパスワードはMSPの初期パスワードになります。

READY

SINSEI

DONO SYSTEM NI SINSEI SIMASUKA

* 1.DAI-2 CENTER SYSTEM 2.KYUDAI UTS SYSTEM 3.END *

SYSTEM ? 2

***** A79999A UTS SYSTEM TOUROKU ZYOUKYOU *****

* SYORI-KUBUN ZYOUKYOU KIGEN MIKOMIGAKU(YEN) *

* TOUROKU NASI 000000 0000*(1000YEN) *

***** TOUROKU SINSEI-KUBUN MENU *****

*

* 1.SINSEI 2.KEIZOKU 3.HENKOU 4.TORIKESI /*.END *

*** SINSEI KUBUN ? 1

*** RIYOU MIKOMI GAKU WA IKURADESUKA (1000YEN TANI) ? 10

*** RIYOU KIGEN WA ITUMADE DESUKA (YYMMDD) ? 920331

*** KIGEN=920331 YOSAN= 10(1000YEN) KOREDE IIDESU KA

*** YES/NO ? Y

*** SINSEI WO UKETUKE MASITA ***

*** SINSEI NO KEKKA WA ATODE 'SINSEI' COMMAND DE KAKUNIN SITEKUDASAI **

READY

qvissへの登録方法: UTSシステムにloginして、tourokuコマンドを入力します。qvissへの登録は即座に行われます。qvissのパスワードはtourokuコマンドを入力した時のUTSの

パスワードと同じです.

```
% touroku qviss
```

```
adduser: User a79999a added.
```

```
%
```

- ・利用負担金

使用時間 1 分間につき 3 円の利用負担金が U T S で徴収されます.

- ・ファイルについて

利用者のホームディレクトリは共通です (/home/user/tmp) . qviss 上にファイルを保存することはできませんので, ファイルは MSP または UTS に保存して下さい.

参考文献

[1] 山成 實, 「MARC/MENTAT 使用の手引き」

MARC/MENTAT 利用講習会資料 (平成 3 年 1 1 月 2 9 日開催)

九州大学大型計算機センター広報, Vol. 25, No. 1 (平成 4 年 1 月 2 5 日発行予定)

[2] マニュアル, MENTAT ユーザーズ・ガイド

[3] マニュアル, MENTAT リファレンス・マニュアル

(ライブラリ室 内線 2 5 0 8)

7. 「オンライン・データベース利用ガイド (第 11 版)」の発行について

7 大学の全国共同利用大型計算機センターおよび学術情報センターでは, それぞれデータベースのオンラインサービスを行っており, 利用者は交換回線 (電話) あるいはコンピュータ・ネットワークなどを介して手近な端末からどのセンターのデータベースでも利用できるようになっていきます. この利用ガイドは, 各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです. このたび第 1 1 版が発行されました. ご希望の方は, 氏名・身分・登録番号・所属を記入した文書で共同利用掛までお申し出ください.

(共同利用掛 内線 2 5 1 5)